

平成26年度地域少子化対策強化事業実施計画書（市町村分）

都道府県名 鳥取県

市 町 村 名	日吉津村
事 業 名	地域少子化対策強化事業
事業の趣旨・目的	地域の少子化対策・定住促進の観点から、結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目のない支援」を行い、包括的・継続的な支援を行う「日吉津版ネウボラ（仮称）」の構築を目指す。 ・安心して結婚・出産・子育てのできる環境整備 ・若者への結婚・妊娠・出産に対する理解促進 ・産前・産後ケアの推進 ・子育て支援の充実
実 施 期 間	平成27年4月1日 ～ 平成28年3月31日
所 要 見 込 額	428千円
地域の実情と課題	出生率が高い状況（平成25年度合計特殊出生率は日吉津村2.48、鳥取県1.62、全国値1.43）で推移しているが、若年層はアパートを居宅としているケースが多く、自治会加入しない世帯も増えている。子どもの成長とともにいずれ転出する世帯が多数あり、小学校児童数はほぼ横ばいの状態である。結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目のない支援」を行うことにより、個々のケースにより適切な対応をとり、子育て支援の充実を図り、ひいては定住促進につなげていく。
事 業 内 容	1 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援を行うための仕組みの構築 （県事業計画に基づく事業の実施にあたり、県と連携する。） [先駆性] [事業の効果]
	2 結婚に向けた情報提供等 ・結婚支援セミナー アウトプット指標：セミナー参加者20名 195千円 【事業内容は別紙に記載】 [先駆性] [事業の効果]
	3 妊娠・出産に関する情報提供 （県事業計画に基づく事業の実施にあたり、県と連携する。） [先駆性] [事業の効果]
	4 結婚・妊娠・出産・育児をしやすい地域づくりに向けた環境整備 ・子育て支援ファイルの作成事業 アウトプット指標：ファイル配布数50冊 233千円 【記載内容は別紙に記載】 [先駆性] [事業の効果]
	5 少子化対策への前向きな機運の醸成 [先駆性] [事業の効果]
都 道 府 県 と の 連 携 方 法	・県が発信する情報を適切に地域住民へ発信していき、セミナーやフォーラム等への参加促進を図る。 ・鳥取県が作成する啓発番組やCMなどの情報を村の行政無線や広報紙、ホームページなどで周知する。 ・県主催の養成講座への参加を促し、受講者を地域の人財として活用していく。
内閣府「地域住民生活等緊急支援のための交付金」の活用予定	なし

(注)

- 「所要見込額」には、地域少子化対策強化事業実施計画全体の対象経費支出予定額を記入すること。また、金額の根拠となる資料（見積書等）を添付すること。
- 「事業の趣旨・目的」には、実施要領別記第1の1～5を通じて、達成できる目的や事業全体の構成の趣旨を記入すること。
- 「事業内容」には、個別事業名、個別事業の趣旨・目的、個別事業の実施期間、個別事業の所要見込額及びその積算内訳も適宜記入すること。併せて、本交付金の対象事業のみならず結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目のない支援」のための事業計画に含まれる既存事業や他の補助金等を活用した事業についても記入すること。また、個別事業の平成28年6月30日までに把握できるアウトプット指標を記入すること。平成25年度補正予算で実施した事業を継続する場合は「継続」と明記し、併せて継続する理由を記入すること。
- 「（事業の効果）」には、個別事業の平成28年6月30日までに把握できるアウトカム指標を記入すること。
- 「内閣府「地域住民生活等緊急支援のための交付金」の活用予定」には、活用の有無を記載するとともに、活用する場合には、様み分けが分かるようにすること。
- 記入しきれない場合は、別様とすることも差し支えない。また、適宜参考となる資料を添付すること。

(事業内容：別紙個票)

個別事業名	(1) 結婚支援セミナー事業
事業の趣旨・目的	○晩婚化や少子化に歯止めをかけるために、結婚の推進に意欲のある者を対象に、結婚に向けた情報提供や結婚をポジティブに受け止められる方法論等を学ぶ。 ○鳥取県西部の交通の要所という地理的な利点を生かして、周辺市町からも参加者を募り、広域的に若年層へのPRを図り、日吉津が子育てや生活のしやすい地域であることを認識してもらい、将来的に日吉津村で子どもを生み、育てることにもつなげる。 ○昨年からの継続事業として、今回は特に対象を男性に絞り、消極的、遠慮がちな男性にも参加しやすい環境を整え、積極的な参加を促す。
事業内容	結婚に向けて、様々なテーマで全5回の連続講座を開催する。対象者は20歳～40歳代の男性、合計20名で、村内村外住所地は問わずに募集する。会場は、日吉津村複合施設会議室。(継続) ①テーマ『相手に心を開いてもらうためのコミュニケーションとは』・・・コミュニケーションの苦手な人が増えているという現代で、人と関わるために必要なコミュニケーション能力について学ぶ。特に女性とのコミュニケーションの取り方について学ぶ。 ②テーマ『幸せな人生を築くには』・・・結婚ありきではなく、まずは幸せな人生をいかに築くのかという視点で、人生設計について学ぶ。 ③テーマ『今どきの結婚事情』・・・かなり様変わりしてきている現代の結婚事情や多種多様な結婚様式について学ぶ。 ④テーマ『幸せな結婚をするために』・・・結婚に必要な経済的、物理的、精神的な準備について学ぶ。 ⑤テーマ『夫婦円満の秘訣』・・・結婚がゴールではなく、より良い結婚後の生活ができるよう、夫婦円満の秘訣を学ぶ。また妊娠、出産に対する正しい知識を身につける。 以上の5回の講座を通じて、結婚に対してポジティブな思考ができるようにする。 (継続の理由)：平成26年度において当該事業の参加者の意見として満足度は高く、一定の成果があったと思われる。一方で、積極的に参加いただいた女性に対して、男性の参加者が少なかったという課題があり、参加者の意見から男性のみの講座を開催することにより、男性の参加しやすい状況を作り、男性の参加を増やしたい。 アウトプット指標：セミナー参加者20名
先駆性	・地理的に鳥取県西部の交通の要所であることから、周辺地域からも参加者も募り、広域的に若年層へのPRを図る点。 ・結婚から子育てまで日吉津村が生活しやすい地域であることの認識を深めてもらおうとする点。 ・結婚に関する様々なテーマを、全5回の一連の講座として受講させることで、連続性・継続性を持って受講者の意識変化、スキルアップを促しているという点 ・女性は比較的積極的にセミナーに参加されたが、男性の参加者が少ないという現状があり、男性のみを対象として開催することで、消極的・遠慮がちな男性の参加を促すという点。また、テーマを絞り必要な内容が的確に伝わるという点。 ・地域の青年団体と事前準備や参加者募集について、連携を図り、セミナーだけに留まらない交流活動につなげるという点。
実施期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日
所要見込額	195 千円 【内訳】 報償費 150千円(講師謝礼 30千円×5回) 旅費 25千円(講師旅費 5千円×5回) 需用費 20千円(消耗品購入)
事業の効果	いかに生きるかという人生設計を基本として、将来の結婚や家庭生活について不安を持つ独身者に対し、必要な経済的、精神的な準備等について学ぶことは、末永く安心感を持って生活できたり、結婚、子育て等に積極的に取り組むことが可能となる。 ・アウトカム指標：参加者の結婚・妊娠に対する意識変容50% (事前事後アンケート調査による)
市町村との連携方法	

注) 内容、先駆性等がわかりにくい事例の場合には、さらに詳細な記述が必要。

個別事業名	(1) 子育て支援ファイル作成事業
事業の趣旨・目的	<p>○核家族化や地域とのつながりの希薄化など、社会が様々な変化をしていく中で、妊娠～出産に関わる情報は、インターネットや情報誌などで氾濫している状況があり、子育ての負担感を増長している面もある。</p> <p>○妊娠～出産、子育て支援に関わる医療・母子保健・教育などの様々な分野を網羅し、時系列で必要な情報が必要なタイミングで分かるようなファイルを作成することにより、行政や医療機関とのスムーズな連携が図れ、先を見通して支援を行うことができ、子育ての負担感が軽減される。また、家族背景に沿った個別で実効性のある支援が行える。</p> <p>○転出入の多い本村にあっては、転入者に今必要な事業を把握してもらいやすく、行政からもアプローチがしやすい。現状としてインターネットの活用も必要であるが、内容によっては直接話をする必要性を認識してもらう。</p>
事業内容	<p>妊娠、出産に関する情報、子育てに関わる情報、予防接種、子育て支援事業等の情報を時系列で1冊のファイルにまとめる。母子手帳交付時に手渡し、ファイル形式なので、制度改正等にも柔軟に対応していくことができる。(継続) (年間出生予定数 50冊を予定)</p> <p>0歳～12歳までを基本として、年齢ごとに予定されている健診や予防接種についての説明や、必要な問診票等をファイリングしていく。保育所、幼稚園や小学校の案内や入所入園、入学前に必要な手続き、準備品等の情報も掲載する。いつ何が必要かわかりやすく、必要に応じて情報を追加することも削除することも容易に行える。</p> <p>またファイルを配布して終わりではなく、必要なタイミング(健診、予防接種など)で通知やメールにより、情報提供や周知を行い、確実な支援を行うこともできる。</p> <p>継続事業として、家庭学習の定着に力を入れるため、「0歳～15歳まで」を対象に家庭・保育所・学校が連携して取り組む、家庭学習の習慣化を図る手引きを作成する。ファイルを持っている方にはファイルに差し込み、それ以外の方には家庭学習支援の手引きとして全世帯へ配布していく。</p> <p>ファイル内容については、乳幼児健診時、乳児全戸訪問時に説明を行う。</p> <p>(継続の理由)：平成26年度よりファイルの配布を開始したが、受け取った方からはこれからの見通しが立ち、わかりやすく良いという、好評を得ている。一方で、本村の児童の持つ課題を整理していく中で、家庭学習の重要性がピックアップされ、乳児期からの意識付けで、改善を図っていこうと考えた。</p> <p>アウトプット指標：ファイル配布50冊</p>
先駆性	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠～出産、子育て支援に関して、医療・母子保健・教育などの様々な分野を網羅し、各年代に必要な情報を1冊にファイリングしたという点。 ・いつ、何が必要なのかわかりやすく、制度改正等にも必要に応じて柔軟に対応していくことができるという点。 ・時系列で今必要なことがわかりやすく、転出入が多いという本村の特性に対応している点。時系列のシステムが非常にわかりやすく、ファイル形式なので加除が容易であり、必要なことが盛り込めるという点。 ・従来の内容に教育的分野を取り入れ、家庭学習定着のために、0歳から家庭・保育所・学校が連携を取りながら、習慣化に取り組むという点。
実施期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日
所要見込額	<p>【内訳】 需用費 233千円 (印刷製本費 1000部) 200千円×1.08 (消耗品費 ファイル50冊) 300円×50冊×1.08</p>
事業の効果	<p>少し先の将来を見越して子育てできることで、子どものより健全な育成を図ることができる。時系列であることで今必要なことがはっきりとわかり、家庭学習など段階を追って取り組んでいくことができる。</p> <p>・アウトカム指標：ファイル配布による意識変容70% (事前事後のアンケート調査による)</p>
市町村との連携方法	

注) 内容、先駆性等がわかりにくい事例の場合には、さらに詳細な記述が必要。